

Callsign アプリかんたんマニュアル



アプリインストールから利用するまでの操作手順を記します。

※無料版でお試しの場合は9ページの機能制限をご確認ください。
 ※管理者の方は管理画面かんたんマニュアルも併せてご覧ください。

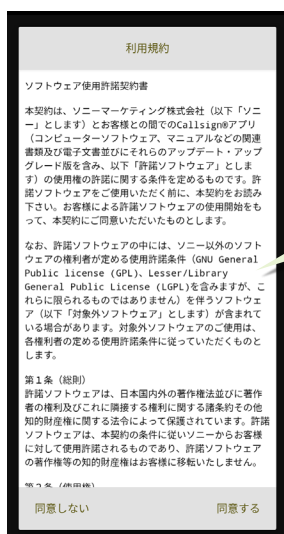
① アプリをダウンロードする

お使いのスマホに、アプリをダウンロードしてください。



② ユーザー名を登録する※初回のみ

1. アプリを起動し、利用規約への同意、スマホ端末への許可を行うと利用開始できます。
2. 任意のユーザー名を入力し、[登録]をタップしてください。



利用規約の他に
 「バックグラウンドでの実行」、
 「音声の録音」、「位置情報」、
 「電話の発信と管理」を許可する
 必要があります。

※Androidの場合です。iOS
 でも類似の許諾が必要です。



ユーザー名は後から
 変更できます。

- 使用方法
- 1 ユーザー名を入力します
 - 2 グループを設定します
 - 3 会話をします

③ 管理画面(Master Web)に端末(スマホ)を登録する (無償版の場合はありません。④へスキップ) ※初回のみ

1. アプリの[設定]→[QRコードを読む]を押します。
2. Master Webで表示されるの端末用QRコードを読み取ってください。
読み取りが完了すると、Master Webに端末が登録されます。

設定

右の管理画面に登録が
されたら、この部分
(プロジェクト)の名称
が変わります。

QRコードを読む

QRコードを読み取りま
す。「カメラへのアクセ
ス」を許可してくだ
さい。

Master Web URL
<https://master.callsign-app.com/>

※端末用QRコードは、ログイン中のみ有効なQRコードです。
Master Webからログアウトした場合は、そのQRコードは利用で
きません。再度QRコードを表示し、登録してください。

④ グループを作成する

1. [グループ登録ボタン]を押します。
2. グループを作成します。グループ名を入力して、最後に[登録]を押してください。
3. これでグループが作成されました。グループは複数作成できます。

**グループ
登録ボタン**

4字以上の
グループ名

!! 注意 !!
同じプロジェクトで、グループ
名が同じであれば、グループに
参加することになります。

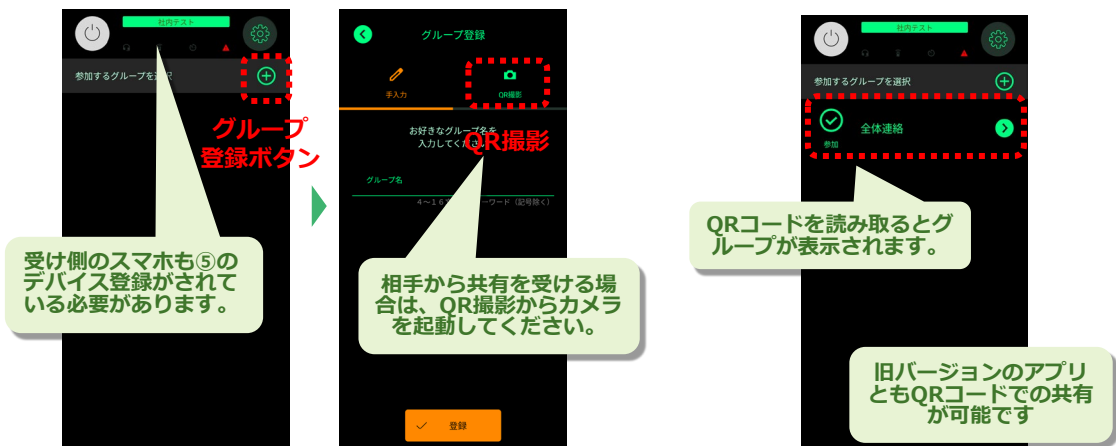
⑤ グループを共有する（送り側・共有する側）

1. グループの右端にある [グループ編集ボタン] を押ししてください。
2. 別のスマホでこのQRコードを読み取ってください。グループを共有できます。



⑥ グループを共有する（受け側・共有される側）

1. 受け側のスマホで [グループ登録ボタン] → [QR撮影] を押ししてください。
2. 送り側が表示するQRコードを読み取ると画面上にグループが設定されます。



⑦ 通話する

1. 参加するグループを選んで、[電源] を押しすると、通話を開始します。
2. [PTTボタン] を押し、もしくは左右にスライドさせると、自分の声を相手に送ることができます。



⑧ ヘッドセットを使う

▶ 有線タイプ

スマホに有線接続してお使いください。

3.5mmのミニジャックがないスマホをお使いの場合は、指定の変換ケーブル（iPhoneであれば純正のLightning変換ケーブル）を使用して接続してください。



CSEM-100

<推奨ヘッドセット「CSEM-100」をお使いの場合>

押し続けている間だけ声を送ることができるPTT操作が可能です。これまでの業務用無線機で慣れ親しんだ操作で、ご利用いただけます

『押しながら送話』するPTT操作と『単押しで送話／終話を切替』の両方の操作が可能です。

<市販のヘッドセットをご利用の場合>

ヘッドセットのメディアボタン（電話受話ボタン）で、『単押しで送話／終話を切替』の操作が可能です。『押しながら送話』するPTT操作はできません。

ヘッドセットを操作した際に「Siri」「音声コントロール」や「Googleアシスタント」が起動する場合があります。スマホの設定から、起動しないようにすることが可能です。詳細は10～12ページをご確認ください。

▶ Bluetoothタイプ

アプリを起動する前に、ヘッドセットをスマホとBluetooth接続してください。



CSEM-200BT

<推奨ヘッドセット「CSEM-200BT」「Jabra Perform 45」をお使いの場合>

ヘッドセット接続後にアプリを起動すると、PTTボタンが自動で接続されます。PTTボタンが接続された後に、PTT操作が可能になります。

『押しながら送話』するPTT操作と『単押しで送話／終話を切替』の両方の操作が可能です。（どちらかをアプリから選択）



Jabra Perform45

詳しい接続方法や仕様については、各ヘッドセット「かんたんマニュアル」もしくは「取扱説明書」をお読みください。

<https://www.sony.jp/professional/solution/callsign/documents/>

<市販のBluetoothヘッドセットをご利用の場合>

AndroidとiOSで使用方法が異なります。

---Android---

[設定ボタン]から[Bluetoothヘッドセット]を選択し、PTT操作の選択をしてください。

- VolumeボタンでPTT
- MediaボタンでPTT（電話の受話ボタン）

※使用するヘッドセットによっては正しく動作しません。

---iOS---

市販のヘッドセットからはPTTを操作できません。

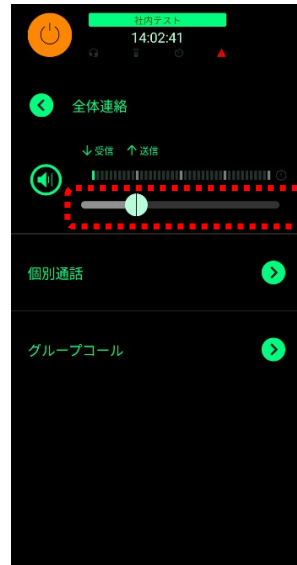
画面からPTT操作するかやハンズフリーの機能をご利用ください。



設定

⑨ 音量調整をする

基本はスマホ本体のボリュームボタンで音量調節をしてください。
グループごとの音声は、アプリ上の[音量調整バー]で調整してください。



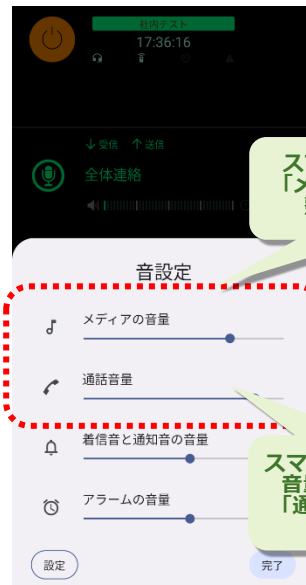
音量調整バー

▶ Android × Bluetoothヘッドセットの組み合わせで使用する場合

Callsignの音量は、「メディアの音量」と「通話音量」の2つの設定値があり、この2つの組み合わせで音量が決まります。

「メディアの音量」は、Callsignを使う際のベースとなる音量値になります。Callsignアプリの電源がONになっている時のみ調整が可能です。アプリの電源がOFFになっている場合は、調整できません（メディアの音量の設定値が表示されますが、Callsignとは異なる設定値となります）。

[設定]→
[Bluetoothヘッドセット]



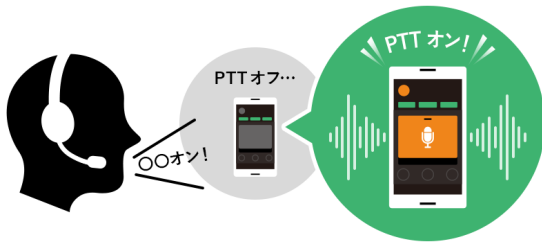
スマホの音設定から、「メディアの音量」も調整してください。

スマホ/ヘッドセットから音量調整した場合は、「通話音量」のみが調整されます。

その他：ハンズフリー機能

ヘッドセットの操作なしで、会話を送信をする機能です。
下記のどちらかの機能を使用することができます。

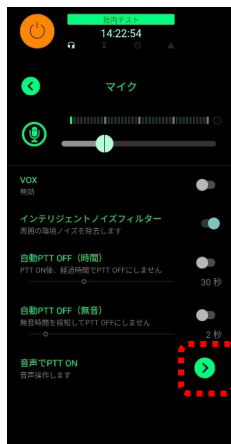
▶ 音声でPTT ON



「PTT ON」「マイクオン」「会話オン」と話しかけることでPTTをONにし、送話を開始できます。PTTがONされる効果音を聞いた後に、話し始めてください。無音状態を検知して自動で送話が終了します。

※注意

周りが騒がしい場合など認識精度が下がることや誤検知が発生することがあります。実際の利用環境でお試しくささい。



設定をONにしてください。

「自動PTTオフ (無音)」
…PTTオン後、無音時間を検知して、PTTを自動でオフにします。
「音声認識の感度」
…数字が大きいかほど感度が高くなり、5段階で設定できます。

▶ VOX (音声検知による自動送話) ※ヘッドセット必要

マイクが音声を感じたときに自動でPTTボタンがONになり、自動で送話ができます。



ヘッドセットが接続されていない場合は、表示されません。

設定がONの時に点灯します。



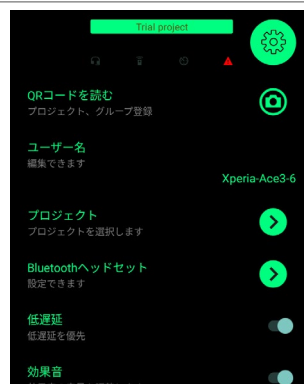
声を出すと、PTTボタンがオレンジになり、自動で送話されます。

設定画面の設定

1. グループ選択画面の右上にある各種設定ボタンを押します。



2. 各種設定画面になります。



※ 各種設定項目

「QRコードを読む」

…Master Webで発行する端末登録用のQRコードもしくは、グループ登録用のQRコードを読み取ってください。

「ユーザー名」

…ユーザー名を変更することができます。ネットワークに接続した状態で行ってください。

「プロジェクト」

…接続するプロジェクトを選択します。ご契約をされている企業様がお持ちのプロジェクトに接続してください。無料機能は「Trial Project」というプロジェクト名です。

「Bluetoothヘッドセット」

…Bluetoothのヘッドセットもしくは、BLE（Bluetooth Low Energy）を搭載したPTTボタンを接続する際に使用してください。※ヘッドセットの詳しい操作については、ヘッドセットのマニュアルをご覧ください。

「低遅延」

…遅延を制限します。ONの場合は一時的に遅延が発生した場合には早送りに対応します。OFFの場合は、遅延量がやや大きくなりますが安定性が優先されます。

「効果音」…「操作音」と「PTT呼出音」のON/OFFと音量を調整できます。

「操作音」…電源ボタンなどを操作した場合に音を鳴らします。効果音がOFFの場合は鳴りません。

「PTT呼出音」…PTTボタンを操作した場合に音を鳴らします。効果音がOFFの場合は鳴りません。

「トーク受信音」…音声を受信する前に、トーク受信前に効果音を鳴らします。デフォルトはOFFです。

「会話モード」

…インカムモード（双方向通話）とトランシーバーモード（交互通話）を切り替えます。（イヤホンなどの音声デバイスを接続していない場合は、トランシーバーモードとなります。）

「音声デバイスの限定」

…誤ってヘッドセットが抜けた際に、スマホから音声・マイクが漏れることがないように音声の入出力をヘッドセットだけに限定することができます。未接続の場合は会話ができなくなります。デフォルトはOFFです。

「利用規約」・「ユーザーマニュアル」・「プライバシーポリシー」・「バージョン」

…各メニュー内容を表示します。

「アプリ終了（Android限定）」

…アプリはバックグラウンドとして動作しているため、通常のアプリ終了では終了しません。バックグラウンドでの動作を終了させる場合は、この機能でアプリ終了を選択すると「OS操作でこのアプリを終了してください」というメッセージが表示されるので、アプリのスワイプ操作などでアプリを終了してください。

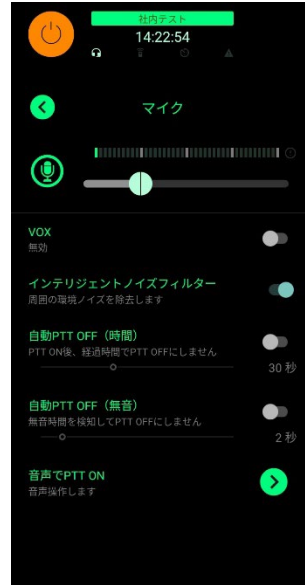
PTT・マイクの設定

1. アプリの電源をONし、画面右下のマイク設定ボタンを押します。



マイク
設定ボタン

2. 各種設定画面になります。



※ 各種設定項目

「VOX」

…VOX機能の設定メニューはヘッドセット/イヤホン接続時に表示されます。音声を検知し自動で送話（ハンズフリー）し、音声が無くなると送話が終了します。

「インテリジェントノイズフィルター」

…ソニー独自開発の音源分離技術（AI技術）により、周囲の雑音や風切り音などのノイズを取り除き、聞き取りやすい会話を実現する機能です。ON/OFFの切り替えができます。人の声より周囲の音が大きい場合や既設インカムと連携をして使用する場合は、OFFにしてください。（デフォルトはONです）

「自動PTT OFF（時間）」

…PTTオン後、設定の時間が経過すると、PTTを自動でオフにします。オフにするタイミングは、5秒、10秒、20秒、30秒、1～5分は1分単位で設定できます。デフォルトはOFFです。VOX（音声検知による自動発話）機能使用時は無効になります。

「自動PTT OFF（無音）」

…PTTオン後、無音時間を検知して、PTTを自動でオフにします。オフにするタイミングは、1～10秒は1秒単位で設定できます。デフォルトはOFFです。PTTオン後に、最初にPTTオフするまでには最低5秒かかります。VOX（音声検知による自動発話）機能使用時は無効になります。

「音声でPTT ON」

…「PTT ON」「マイクオン」「会話オン」と話しかけることでPTTをONにし、送話を開始できます。PTTがONされる効果音を聞いた後に、話し始めてください。デフォルトはOFFです。詳細は6ページをご確認ください。

※ こんなときはどうする？

・サーバーに接続できない

※ネットワークが切断された時には「サーバーに接続できません」と表示され、効果音「プププー」が流れます。

- －スマホの通信状況をお確かめ頂き、通信環境の良い場所でお使いください。
- －ブラウザなどで外部インターネットに接続可能かお確かめください。
- －ローカルネットワークをご利用の場合は、ファイアウォールなどで制限されている場合があります。その場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- －それでも解決しない場合は、アプリの再起動を行ってください。



・音が聞こえない

- －スマホ端末のボリュームを確認してください。
- －ヘッドセットがきちんと刺さっているか確認してください。（画面上に赤い三角マークがある場合は認識されていません）
- －アプリの音量調節は適切かどうか確認してください。（4ページ参照）

・ヘッドセットのPTTボタンが使えない

- －設定画面の一番下部の「アプリを終了する」で一度アプリを終了させてください。
- －ヘッドセットを差した状態で、アプリを再起動させてください。

・自分の声が戻ってくる。

- －有線ヘッドセットを利用時、マイクの入力レベルを上げ過ぎると発生することがあります。
- －音量やマイクレベルの調整か、クロストークが発生しにくいヘッドセットをご利用ください。

・Siriや音声検索が起動してしまう。

- －7ページ以降を参考にSiriの起動や、Googleアプリの起動を停止することを推奨します。（OSの基本設定では、イヤホンのボタン長押しで他のアプリが起動するようになっています。）

※ 無料版アプリの機能制限

- ・接続は1グループのみです。
- ・1グループに参加ができるのは5名までとなっています。6人目は電源はONになりません。
- ・1時間のうち1人当たりが送話できる時間(マイクがONになっている時間)が、累計10分までです。（送話開始から1時間後リセットされ、再度送話できるようになります。）
- ・その他 利用できない機能があります。

※ インジケータの説明



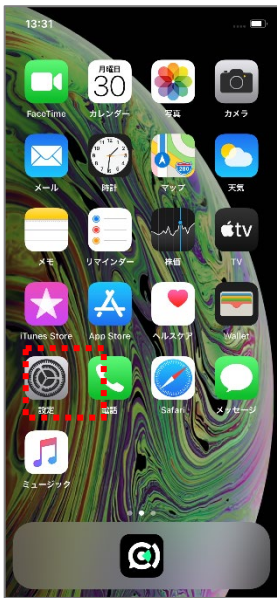
左から

- ・ヘッドセットインジケータ : イヤホン、ヘッドセットを利用することを示します。
 - ・BLEボタンインジケータ : BLEでPTTボタンデバイスと接続している場合に点灯します。（※PTT中はオレンジに点灯します。）
 - ・タイマーインジケータ : 自動PTTオフ機能をONにしている時に点灯します。
 - ・ワーニングインジケータ : 使用上、設定に問題がある場合に点灯します。
- 例) デフォルト設定ではインカムモードになっていますが、ヘッドセットを接続していない場合はトランシーバーモードとして動作するため、ワーニングインジケータがインカムモードでないことを明示するため点灯します。
- 例) 使用する音声デバイスをヘッドセットだけに限定している状態で、ヘッドセットが接続されていない場合に、音声を利用できないことを明示するために点灯します。

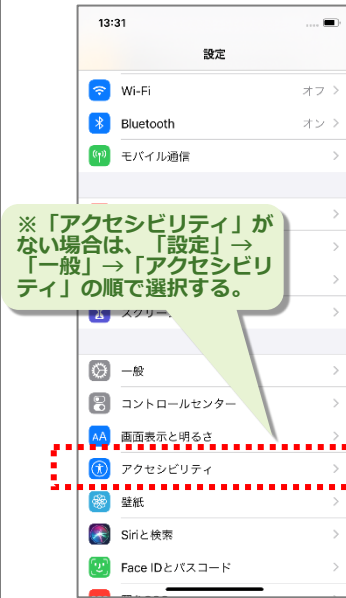
★ Siri及び音声コントロールを無効にする方法（1/2）

iPhoneをお使いの場合、ヘッドセットを接続しヘッドセットのPTTボタンを長押しすると、Siri（もしくは音声コントロール）が起動する場合があります。その場合は、Siriの起動をOFFにする必要があります。（OSのバージョン、スマホの機種によって画面の表示が異なります。）

1. ホーム画面から「設定」を選択する。



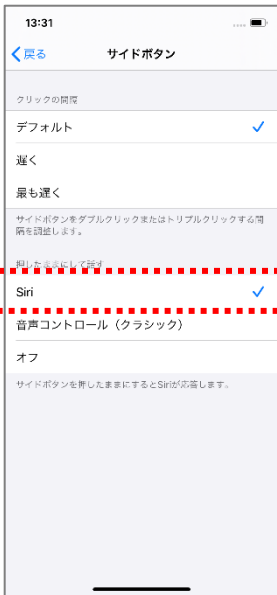
2. 次に「アクセシビリティ」の順に選択する。



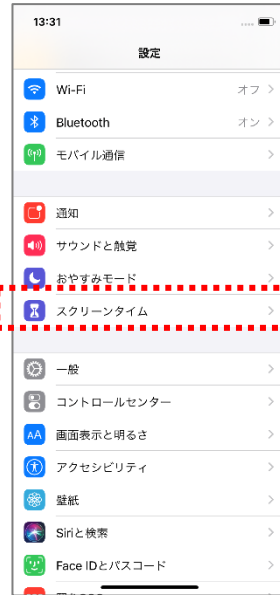
3. “身体および動作”という項目の中から「サイドボタン」もしくは「ホームボタン」を選択する。



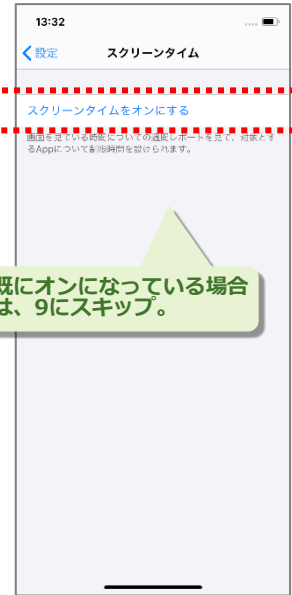
4. “押したままにして話す”という項目の中の、「Siri」にチェックをする。



5. 次に、「設定」画面まで戻り、「スクリーンタイム」を選択する。



6. スクリーンタイムがオフになっている場合は「スクリーンタイムをオンにする」を選択する。

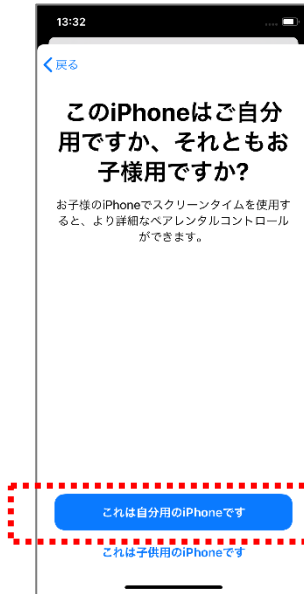


★ Siri及び音声コントロールを無効にする方法（2/2）

7. 「続ける」を選択する。



8. 「これは自分用のiPhoneです」を選択する。



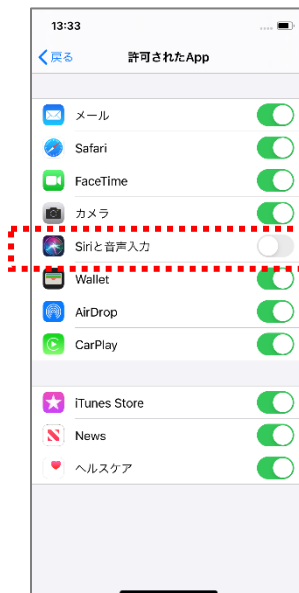
9. 「コンテンツとプライバシーの制限」を選択する。



10. 一番上の「コンテンツとプライバシーの制限」を有効にして、「許可されたApp」を選択する。



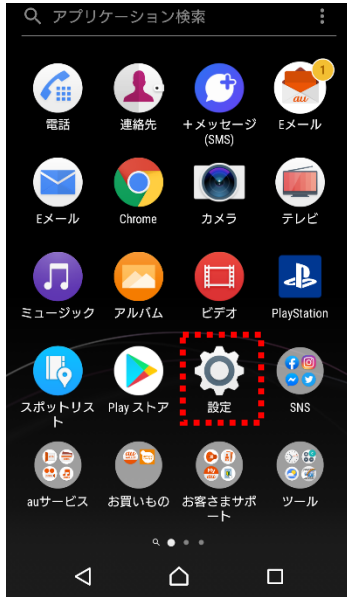
11. 「Siriと音声入力」を無効にする。



★ Googleの音声検索の起動を無効にする方法

Androidのスマホをお使いの場合、ヘッドセットを接続しヘッドセットのPTTボタンを長押しすると、Googleの音声検索が起動する場合があります。その場合は、Googleを「無効」にする必要があります。（OSのバージョン、スマホの機種によって画面の表示が異なります。）

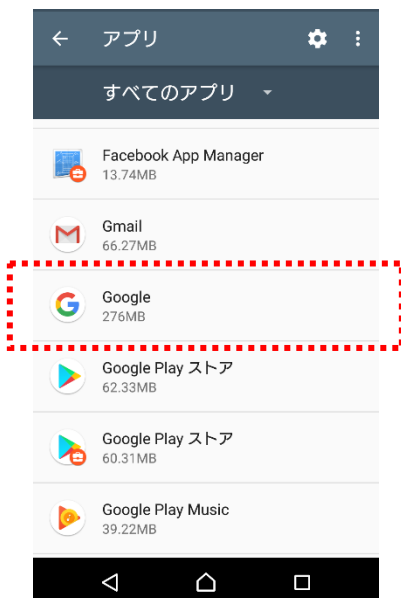
1. ホーム画面、アプリ選択画面から「設定」を選ぶ。



2. 次に「アプリ」を選択する。



3. アプリ一覧の中から「Google」を選択する。



4. 次に、「無効にする」を選択する。



無効にすると、ホーム画面やアプリ選択画面からアイコンが消えます。復元する場合は、同じ作業でアプリを有効にしてください。